

教科・領域【 工業 】 科目【 実習（設計） 】

学科・コース	インテリア	学年	第 2 学年	単位数	4 単位
--------	-------	----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

インテリアに関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

2 使用する主な教材等

(1) 使用教科書，副教材等  
なし

(2) 授業で配布するもの  
・鹿児島県高等学校建築設計競技会の要綱

3 年間の学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科等との関連等)	考查範囲等
一 学 期	透視図の作図	4	2 消点透視図法を理解し作図をすることによって建築物を立体的に描く技法を習得する	インテリア装備・インテリア計画・インテリア製図との関連を考慮する	作品提出
	建築設計競技会の作品製作	5 6 7	設計競技会に出品することにより，住宅設計の基本的な考え方を理解し，図面を構想し作成する能力と態度を身につける。		
《課題・提出物等》 ・透視図 ・鹿児島県高等学校建築設計競技会出品作品					
《1 学期の学習状況の評価方法》 ・作品（70％）・授業態度（30％）					

学期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備 考 (特記事項や他教科等との関連等)	考 査 範 囲 等
二 学 期	建築設計競技会の作品製作	9	設計競技会に出品することにより、住宅設計の基本的な考え方を理解し、図面を構想し作成する能力と態度を身につける。	インテリア装備・インテリア計画・インテリア製図との関連を考慮する	作 品 提 出
	建築設計競技会へ提出した作品の模型製作	10	建築設計競技会へ提出した作品の模型製作をし、 11 隼工祭に展示する作品を仕上げる。住宅模型を制作することにより、建築物の構造を理解し、建築構造物の効果的なプレゼンテーションの技術を身につける。		
		11			
12					
《課題・提出物等》 ・ 作品					
《2学期の学習状況の評価方法》 ・ 作品 (70%) ・ 授業態度 (30%)					
三 学 期	住宅模型の製作	1	住宅模型を制作することにより、建築物の構造を理解し、建築構造物の効果的なプレゼンテーションの技術を身につける。 3 CADシステムの基礎知識と製図の基礎知識を関連づけて理解し活用する能力を身につける。	インテリア装備・インテリア計画・インテリア製図との関連を考慮する	作 品 提 出
	自動製図装置を活用した設計製図	2			
		3			
《課題・提出物等》 ・ 作品					
《3学期の学習状況の評価方法》 ・ 作品 (70%) ・ 授業態度 (30%)					
《年間の学習状況の評価方法》 ・ 作品 (70%) と 授業態度 (30%)					